

姫路市汐入川才西川放水路幹線建設工事

φ1500mm 泥水式推進工 532mの掘削を完了

4月20日にNo.5立坑から発進した泥水式推進機が、10月25日にNo.7立坑に到達しました。姫路特有の砂礫地盤に苦戦しましたが、最後まであきらめことなく無事掘削を完了させることが出来ました。



No.7立坑に到達した泥水式推進機。500m以上砂礫地盤と格闘したため、超合金でできたカッタービットもだいぶすり減っていました。



泥土圧式シールドマシン 外径4.08m 全長6.9m 総重量102t
横浜の工場で作製され、9分割されて現場で組み立てました。しるまる姫をイメージしたカラーリングです。

今月のメインピック

シールドマシンが発進

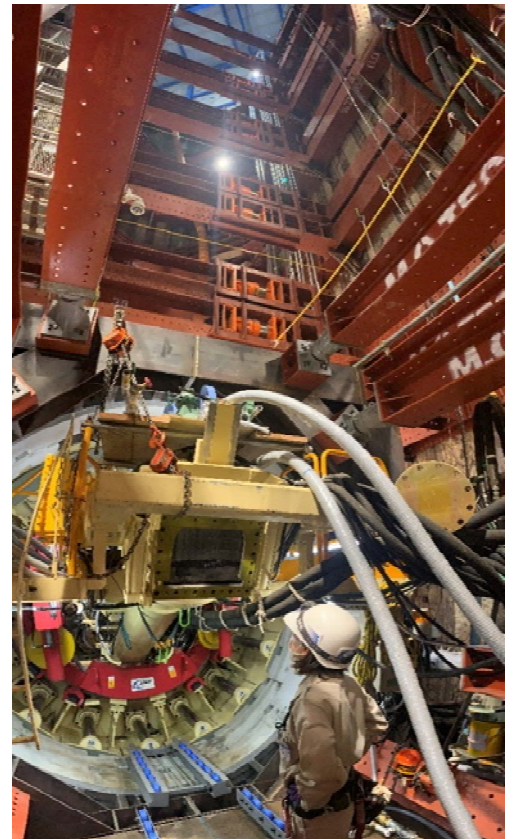
～小坂公園を出発して1526mの旅に～

11月1日(月)、シールドマシンが小坂公園のNo.1立坑(深さ22m)から無事発進しました。これから約10か月をかけて、1526mを掘削していきます。

今回使用するのは泥土圧式シールドマシン。前面のカッター(刃)を回転させながら土を削り取り、加泥材を混ぜ合わせ、流動化させ(ドロドロの状態にして)、地山に押し当てることで、地盤の崩壊を防ぎながら掘り進みます。掘った後は、セグメントと呼ばれるコンクリートのブロックを組み立てることで、トンネルの壁面を構築します。組み立てられたセグメントにジャッキを押し当て、シールドマシンは再度前進します。これを繰り返すことでトンネルを作るのです。

まず、最初の100mは初期掘進と呼ばれる、仮の設備で掘削を進めていきます。その後、約1か月かけて本番用の設備を設置して、来年1月から本格的な掘削を開始します。

掘削工事は昼夜2交代で進めていきます。現場には防音ハウスを設置して、夜間にも音が漏れないようにして作業します。ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。



深さ22mの立坑の下から見上げると…



推進機はきれいに清掃され、120t吊クレーンで吊り上げられ、トレーラーで工場に帰って行きました。お疲れ様でした！工場では整備され、また次のトンネル掘削に備えます。



仕上がったトンネルの内部は直径1.5m。大人が立って歩くには少し大変です。作業する皆さんは台車に乗ってスケボーのように移動します。



お知らせ

年末年始休暇

気付けば今年も残りあと1か月。工事現場も年末年始のお休みをいただきます。

12月29日～1月4日

※この期間は、作業は行いませんが、警備員による現場の巡回を行います。

-お問合せ先-

事業主体：姫路市下水道局
TEL：079-221-2661

発注者：日本下水道事業団
TEL：078-752-2129

施工者：清水・森長・宇鷹 JV
TEL：079-230-0877